

## 2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会の概要

- 1 名 称 2006年トリノ冬季パラリンピック競技大会（通称 トリノパラリンピック）  
Torino 2006 Paralympic Winter Games
- 2 主 催 国際パラリンピック委員会（IPC）  
トリノ2006オリンピック組織委員会（TOROC）
- 3 開催地 イタリア・トリノ市
- 4 期 間 平成18年3月10日～19日  
3月 4日（土） 選手村オープン  
3月10日（金） 開会式  
3月11日（土）～ 競技開始（19日まで）  
3月19日（日） 閉会式  
3月22日正午 選手村閉村
- 5 渡航予定
- 1) 出発
- ① アルペンスキーチーム  
平成18年2月22日 成田発13時30分（JAL417便） トリノ着18時05分
- ② ノルディックスキーチーム  
平成18年2月24日 成田発13時30分（JAL417便） トリノ着18時05分
- ③ スレッジホッケー・本部  
平成18年3月4日 成田発13時30分（JAL417便） トリノ着18時05分
- 2) 帰国（日本選手団）  
平成18年3月23日 成田着16時40分（JAL418便）  
トリノ発 3月22日 20時45分
- 6 式 典 日本選手団結団式 平成18年2月13日（月） 13時  
JAL CITY 田町  
日本選手団解団式 平成18年3月21日（火）  
トリノ市内ホテル
- 7 実施競技、会場及び選手数 （4競技、2選手村）
- 1) アルペンスキー BORGATA（セストリエール） 223名  
トリノ市内から車で2時間以上離れたアルプス山脈に位置し、セストリエール選手村から2Km離れ、車で5分程度
- 2) ノルディックスキー PLAN（ブラジェラート） 151名  
トリノ市内から車で2時間程度離れたアルプス山脈に位置し、セストリエール選手村から8Km離れ、車で20分程度
- 3) アイススレッジホッケー ESPOSIZIONI（トリノ市内） 120名  
トリノ市内のほぼ中心部に位置し、トリノ選手村から5Km離れ、車で10分程度
- 4) 車いすカーリング PALAGHIACCIO（トリノ市内ピネローロ） 40名  
トリノ選手村から36Km離れ、車で1時間程度のアルペン山脈の麓に位置する。
- 5) 選手村 アイススレッジホッケーと車椅子カーリングチームはトリノ市内選手村に、アルペンスキーとノルディックスキーチームはセストリエール選手村に宿泊する。両選手村間の距離は104Km、車で2時間以上かかる。  
セストリエールの選手村には全てのコーチが入村できない。入村できないコーチは選手村の隣の宿舎を使用する。

## 8 トリノ大会特記事項(2005.11月IPC発表)

- 1) オリンピックと同じトリノ2006オリンピック組織委員会(TOROC)が大会を運営。
- 2) 車椅子カーリング競技が初めて実施される。
- 3) 種目はクラスを統合した、3つのカテゴリー制となる。
- 4) オリンピック終了後、2週間でパラリンピック開催
- 5) 実施種目(メダルイベント)は58
- 6) 参加国 41カ国
- 7) 選手数 534名
- 8) 競技役員 700名
- 9) 選手団 1000名
- 10) 報道者の人数 1000名
- 11) ボランティア 6000名以上
- 12) ドーピング検査 280件

- 9 参加数 選手・役員 約41カ国 約1250人(選手650、役員600人) 予定  
スレッジホッケー参加国  
グループA ドイツ ノルウエー カナダ イタリア  
グループB 日本 アメリカ スエーデン イギリス

## 10 日本選手団 91人(選手40人、ガイド4名、役員47人) 参加予定

- 1) 日本選手団本部 13名
  - ① 団長 1名
  - ② 副団長 1名
  - ③ 医師 2名
  - ④ 看護婦 1名
  - ⑤ 総務 7名
  - ⑥ 通訳 1名
- 2) アルペンスキー 32名
  - ① 選手 17名(男子13名、女子 4名)
  - ② ガイド 1名
  - ③ 監督 1名
  - ④ 役員・コーチ13名
- 3) ノルディックスキー 23名
  - ① 選手 8名(男子 5名、女子 3名)
  - ② ガイド 3名
  - ③ 監督 1名
  - ④ 役員・コーチ 11名
- 4) アイススレッジホッケー 23名
  - ① 選手 15名(男子15名)
  - ② 監督 1名
  - ③ 役員・コーチ 7名

## 11 関係役員の派遣

会長を含め9名を予定。